



横浜国立大学名誉教授

池田 尚治

次世代を考え 「プレストレストコンクリート」を 日本語で —「張筋コンクリート」を提案する—

プレストレストコンクリート技術（PC技術）は今や橋梁として国土のネットワークの主要な構成要素となっています。まさに我々の生活を根幹から支えているのは高張力PC鋼材によって締め付けられた頑丈なコンクリートのラインなのです。このラインを横から眺めると極めて軽快で躍動感があり人工的な美しい景観を構成しています。また、新幹線などの鉄道の枕木もほとんどがPC製で鉄道の安全に寄与しています。このようなPC技術は今から約80年前に実用化されたものですが世の中には鉄筋コンクリートのように知れ渡ってはいないようです。大学の建設系学科の教育でもPC技術の最新の情報については残念ながらほとんど教えられていません。つまり大学の専門教育よりも実社会の方がはるかにPC技術に関しては先を進んでいるのです。いわんや世間一般の市民にとってはPC技術の知識はほとんどないものと思われま。しかしながら現実には世界の近代インフラはその多くはPC技術で構成されて来ているのです。昨年開通した新東名高速道路ではPC技術がその主役になっているのです。自分たちが日常利用しているインフラの変貌については本来興味があると思うのですがPC関係者がこれまで広報に力を入れる余裕がなかったので一般市民や大学教育との間にこのようなギャップが生じてきたものと思われま。今般、PC建設業協会で新たに「PCプレス」とネーミングした広報誌を創刊することは誠に時宜を得たもので今後のPC技術の発展普及に大いに貢献することと期待されます。

ところでここで一つの提案があります。PC技術が知識として我が国で一般に普及してこなかった理由の一つとしてPCの正式名称をプレストレストコンクリートという英語名の長いカタカナでそのまま用いてきたことにもあると思います。漢字で表すものとして「鋼弦コンクリート」が初期に用いられましたが何故か普及しませんでした。そこで色々考えた結果なのですが「鉄筋コンクリート」の用語が普及しているのにこれに倣ってプレストレストコンクリートを「張筋コンクリート」とするのは如何でしょうか？緊張材には新素材も使いますので「鋼弦」よりは「張筋」の方が力学的にも材料学的にも適していると考えています。用語には慣れが必要ですので当面はプレストレストコンクリート（PCまたは張筋コンクリート）のように併記すると良いと思います。新しい用語を誕生させてPC技術（張筋技術）の一層の発展普及を期待する次第です。ついでながらPC斜張橋はコンクリート斜張橋に、エクストラドーズド橋はコンクリート張弦橋と呼ぶのは如何でしょうか？